

金融サービス企業向けビジネスインテリジェンス (BI)

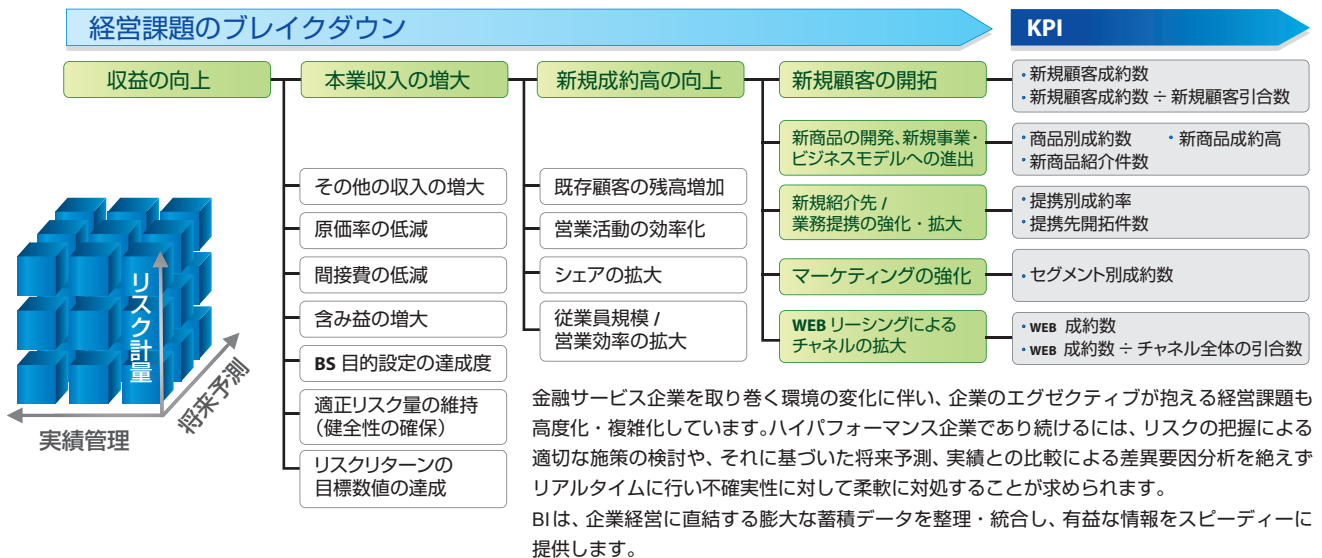
ビジネスインテリジェンス (BI) とは、経営に直結したデータ分析を実現するためのインフラストラクチャとアプリケーションの総称です。BI は定量的な情報ソースにアクセスし、分析および活用することにより、企業戦略に基づいたリソースとプロセスの最適配置を可能にすることを目的としたもので、企業の中長期経営戦略に基づいた経営課題を解決するための改善施策とその目標 (KPI: Key Performance Indicator) 設定作業の実施や、導入後の環境変化に対応するための継続的な運用が重要です。アビームコンサルティングは BI 導入に関する各種サービスを総合的に提供いたします。

金融サービス企業を取り巻く環境と BI の必要性

金融サービス企業は、各種規制、テクノロジー、グローバリゼーション、新規の競合相手や新しいビジネスモデル、資本市場の圧力、そして絶えず変化する顧客の要求といった複数の観点から問題に対処していく必要があります。

また、これらの要素は不確実性に富んでいます。厳しい競争環境の中で勝ち残るためには、自社のコア事業を明確に定義するとともに、他社を上回るパフォーマンス実現のために、「継続的な改革」に向けた戦略を展開することが不可欠です。これらを実践している企業の多くは、「業務プロセス」「マネジメント・組織」「IT」「人材・企業風土」などを通し、企業および企業グループ全体で横断的に改革に取り組むことによって、経営ビジョンを現実のものとしています。

■ 収益課題ツリー整理例 (総合リース会社)



BI としての経営管理システム

高度な経営管理

経営管理システムは、単に収益性を計測する指標を設定し、システムで情報を収集するのに留まるものではありません。経営目標達成を目的とした経営資源配分的意思決定・現状の改善施策の検証に耐えうる必要があります。

経営管理システムの構成

経営管理システムは実績管理・将来予測・リスク計量の3つのサブシステムから構成されます。それぞれのシステムは相互に連携し、現在から将来までの企業の経営状況を把握できるよう支援します。

実績管理-リスク計量

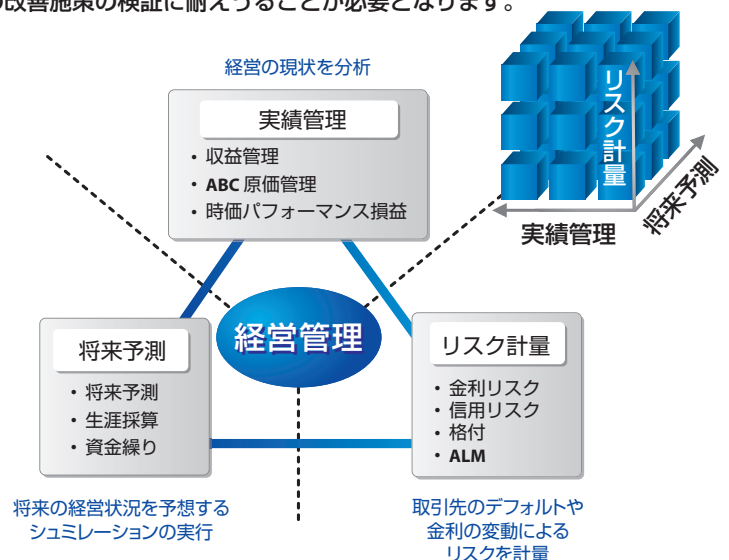
現在の時価、現在の含み損益を把握

将来予測-実績管理

ストックデータの将来展開状況を把握
予実管理

将来予測-リスク計量

将来の時価、将来の含み損益を把握



ビジネスインテリジェンスソリューション

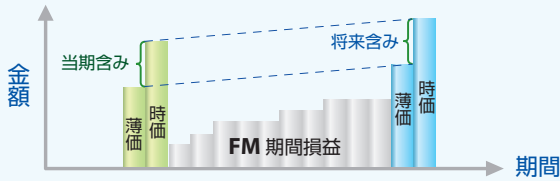
アビームコンサルティングは金融サービス企業の事業スタイルや目的に応じたビジネスインテリジェンスソリューションとして、体制構築や方針策定からシステム構築・導入まで幅広いサービスを提供します。

■ アビームコンサルティングのビジネスインテリジェンスソリューション 例

実績管理

企業活動の結果である収益・原価をさまざまな角度から分析・活用するための切り口を提供します。事業セグメント別での収益・原価の認識や、コスト要因を社員の活動に結び付けて計測する(ABC)などの基本的な分析。さらには、現在の「価値」を時価と簿価との差分(含み損益)として計上することで、将来の価値を生むための活動を把握することを可能にします。(時価パフォーマンス損益)

■ 時価パフォーマンス損益イメージ



※パフォーマンス損益 = 期間損益 + 含みの増減

将来予測

現在の戦略が数年後の経営へどのようなインパクトを与えるかを可視化し、意思決定・仮設検証支援となる情報を提供します。「将来予測」は担当者が設定したパラメータ(※)をもとに、将来の「粗利益」「資産残高」「負債残高」「支払利息」などの金額を計算し、中期損益計画としてのP/LやB/Sなどのシミュレーション機能となります。将来予測データは最小限の粒度で作成され、リスク計量や実績管理に受け渡されます。

■ 既存・新規契約の構成イメージ



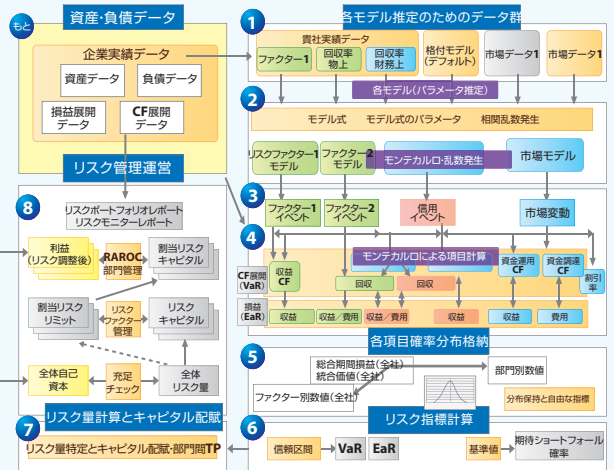
※金利シナリオ、新規取扱高、解約率、デフォルト率、など

リスク計量

金利・信用などリスクファクター別の計量モデル構築だけでなく、それらを総合して計量するソリューションを展開しています。企業の事業特性にふさわしいリスク管理・リスク評価モデルを構築します。

「リスク管理システムの設計・構築・導入」「リスク計量モデルの評価」「リスク管理体制・方針の構築」など、体制/プロセス構築や方針策定からシステム構築まで、幅広いサービスを提供します。

■ 統合リスク管理システムのイメージ



また、企業の事業セグメントに応じて、独自のノウハウをもとに信用リスク計量の基準となる信用格付モデルを統計的手法を用いて構築します。

信用格付モデル

- 企業向け信用格付モデル
- スモールビジネス向け格付モデル
- 個人向け格付モデル など

導入のアプローチとポイント

企業が抱える真の課題を深く理解し、目指すべき方向性を定め、それを実際に具現化することがアビームコンサルティングのサービスの特徴です。業務改革の構想策定から新業務プロセスの定義、定着化にむけての意識改革、新システムの装着にいたるまでシームレスな一貫したサービスを提供します。

■ 検討ステップ例 (金利リスク計量)



- リスク計量の使用目的の検討
- リスク管理所管の検討
- リスク要因の決定
- 信用リスクなどの統合化の可否について検討
- 計量頻度の検討

- 金利リスク把握に用いる指標検討
- リスクホライズンの検討
- リスク計量対象とする資産負債の検討
- 信頼区間の検討
- リスク管理にかかわる所管の作業分担検討

- 定義した業務要件の中で、システム化すべき範囲の検討

- 予測値の計算ロジック検討
- 入力パラメータ、出力帳票
- 高度な機能の可否の判断

検討のポイント

BIを導入し定着させるには、戦略、プロセス、システム、人・組織の4つの観点から検討を行う必要があります。